

あいさつ

義務教育指導課長 川越 豊彦

葉桜の季節を迎え、新入生たちも少しずつ学校生活に慣れてきた頃かと思えます。また、各学校では、子供たちの「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育むための教育活動が、本格的に始まっていることと思えます。

東京都教育委員会は、本メール・マガジンのタイトルにもあるとおり、今年度も各学校や区市町村教育委員会とスクラムを組んで、東京都の子供たち一人ひとりの学力向上を図るための取組を行ってまいります。

子供たちは、日々の学習に取り組む中で、「分かるようになりたい」、「できるようになりたい」と願っています。また、保護者の方々は子供たちに、「分からないことが分かったときの喜びを実感してほしい」、「できなかったことができるようになったときの喜びを経験してほしい」と願っています。このような子供たちの願い、保護者の方々の願いに応えていくことが、私たち教育に携わる者の使命です。

たとえ小さなことであっても、「分かった」、「できた」という喜びは、子供たちの中に強く残ります。日々の授業の中で、その「分かった」、「できた」という喜びを一つずつ積み重ねていくことが、子供たちの主体的な学習へとつながり、そしてやがては主体的な進路選択へとつながっていきます。

子供たちが「分かる喜び」、「できる喜び」を実感できるためには、子供たちの教育に直接携わっている先生方一人ひとりの、授業改善のための不断の取組が不可欠です。東京都の全ての子供たちが、日々の授業の中で「分かる喜び」、「できる喜び」を感じることができるよう、そしてその喜びの先に、子供たちの未来を支える確かな学力を身に付けられるよう、今年度もメール・マガジン「Scrum」を通して、先生方の授業改善の取組を支援してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

目次

- 習熟度別指導ガイドラインの活用について p.2
- 東京方式 習熟度別指導ガイドライン <<中学校数学>>について p.3
- 東京方式 少人数・習熟度別指導ガイドライン <<中学校英語>>について p.5

東京都教育委員会ホームページ内に「学び応援ページ」というコーナーがあるのを御存知ですか？

「学び応援ページ」には、各学校が、指導内容や指導方法等の工夫を通して、授業の改善・充実を図ることを応援するための、様々な事例集や報告書等を掲載しています。ぜひ、御覧いただき、参考にさせていただければと思います。なお、本通信のバックナンバーも、順次「学び応援ページ」に掲載しています。

（東京都教育委員会ホームページアドレス

<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>）

「学び応援ページ」を御活用ください！

**東京ベーシック・ドリルも
掲載しています！**

東京都教育委員会ホームページ・トップページ
の下の方に、このリンク用バナーがあります！



★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を御入力いただき、S9000024@section.metro.tokyo.jp へメールを御送信ください。

本年度も「Scrum」を御活用ください！

平成27年度が始まりました。東京都教育委員会では今年度も、児童・生徒一人ひとりの「確かな学力の定着と伸長」を目指し、授業改善や学習指導等に関する情報を配信して、学校や先生方の教育活動を支援します。今年度もメール・マガジン「Scrum」を、ぜひ御活用ください。今回は、習熟度別指導ガイドラインについてご紹介いたします。

● ● ● 習熟度別指導ガイドラインの活用について ● ● ●

習熟度別指導ガイドラインとは・・・

子供たちに基礎・基本が確実に身に付くようにして、学びの喜びの実感と学習意欲を高めていくとともに、自ら課題を見つけ解決していく能力等を育み、一人ひとりの豊かな個性を伸長させていくことを目的としています。

《内容》子供たちの習熟の程度に応じた学習指導を効果的に実施する際の指導方法や指導体制、校内での推進体制等



小学校算数 では今年度から、加配を受ける全校でガイドラインに沿った指導を実施します。

中学校数学 は43校の、**中学校英語** については71校の新規加配校において、今年度、ガイドライン（数学は「習熟度別指導ガイドライン」、英語は「少人数・習熟度別指導ガイドライン」）に沿った指導を行います。それ以外の学校は準備期間です。

なお、平成28年度からは、**数学、英語共に** 全ての加配校での実施となります。

習熟度別指導ガイドラインのねらい

★ 習熟の程度に応じた指導の充実

* 習熟の程度を把握して学習集団を編成し、その集団に適した教材を用いて指導するなど効果的な個に応じた指導を展開する。

★ 「補充的な学習」においては…

* 個々の学習状況に応じて、前の学年に立ち戻る指導や基礎的な問題の反復学習を行うなど、「できる」「分かる」まで繰り返す指導の徹底を図る。

★ 「発展的な学習」においては…

* 基礎・基本を十分に身に付けている子供たちに対しては、一人ひとりの能力・適性、興味・関心等に応じて、さらに学習を広げたり、深めたり、進めたりする指導を推進する。

東京方式 習熟度別指導ガイドライン

《中学校 数学》について

中学校数学においては、今年度から一部の学校で「東京方式 習熟度別指導ガイドライン」に基づいた習熟度別指導を実施することになります。小学校段階及び中学校の各学年段階の基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるための「補充的な指導」の充実や、学習をより進めていくための「発展的な指導」など、個に応じた指導の一層の充実を図ることで、「確かな学力」を育てていきます。

確かな学力を身に付けさせるために大切なこと

小学校段階や中学校の各学年段階の基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるための「補充的な指導」の充実や、学習をより進めていくための「発展的な指導」など、個に応じた指導の一層の充実が必要

習熟度別指導において、全ての生徒に確かな学力を確実に身に付けさせ、生徒の学習満足度を高めるためには、実効性を高めるための工夫・改善が不可欠

ガイドラインの内容を御確認ください！

具体的な実践例が知りたい！

習熟度別指導を効果的なものとするためには何に気を付ければいいのか？

習熟度別指導における指導方法・指導体制についてはどのように考えればいいのか？

学習集団編成ってどのように行うの？立ち戻る指導って？

平成 27 年度版
東京方式
習熟度別指導ガイドライン
《中学校 数学》

本ガイドラインは、中学校数学科において、各学校が効果的な習熟度別指導を実施するために、習熟の程度に応じた学習指導等に関する指導方法・指導体制及び校内での習熟度別指導の推進体制等をまとめたものです。

具体的な目標（達成水準）はどのように設定すればいいのか？

校内の推進体制等についてはどのようにすればいいのか？

東京都教育委員会

保護者にはどのように理解してもらおうの？

それでは、具体的に中学校数学における習熟度別指導の例を見てみましょう。



数学における習熟度別指導の例

【例題レベルの問題】（四則の混じった計算）

補充的な
学習

次の計算をしなさい。

- ① $9 + 4 \times (-5)$
- ② $14 - 6 \div (-2)$

発展的な
学習

習熟の遅いコース

○計算の順序を考える。

理解が
不十分

概ね理解

「計算の順序が
分からない」

「正負の数の計
算ができない」

「計算の順序が
分かる」

ベーシック・
ドリル4年
「計算のきま
り」を繰り返
し練習する。

「正負の数の
加減」及び「正
負の数の乗
除」を繰り返
し練習する。

「計算のき
まり」を基
に、四則計算
の順序を説
明する。

つまづきに応じた学習を行う。

- 例題レベルの問題の答えを求める。
- 正負の数の四則計算についてまとめる。
「負の数が含まれた計算でも、正の数同士の
計算と同じように計算できる。」

習熟の早いコース

- 答えを求める。
- 正負の数の四則計算についてまとめる。
「負の数が含まれた計算でも、正の数同士の
計算と同じように計算できる。」

次の計算をしなさい。

- ① $(-1) + 6 \div (-3)$
- ② $7 - (-2) \times (-5)$

○答えを求める。

【発展問題】

指数や分数が含まれた正負の数の四則計算

次の計算をしなさい。

- ① $4 + (-3)^2$
- ② $-9 - 48 \div (-2)^3$

○答えを求める。

次時

【例題レベルの問題】（かっこのある正負の数の四則計算）

次の計算をしなさい。

- ① $8 + (2 - 3) \times (-4)$
- ② $5 \times \{-6 - 14 \div (-7)\}$



このように、それぞれの学習集団に適した方法で指導しましょう。また、一人ひとりの学習状況に応じて前の学年の学習内容に立ち戻り、「できる」、「分かる」まで繰り返し指導していきましょう。

●●● 東京方式 少人数・習熟度別指導ガイドライン ●●●

《中学校 英語》について

少人数学習集団の編成と個に応じた指導の充実

中学校英語においても、今年度から一部の学校で「東京方式 少人数・習熟度別指導ガイドライン」に基づいた指導を実施します。

生徒のコミュニケーション能力の基礎を効果的に育み、生徒のもつ可能性を最大限に広げるためには、少人数学習集団の編成により生徒一人ひとりの十分な学習活動を確保し、生徒の習熟の程度に応じた指導の充実を図ることが必要であることから、この度、「東京方式 少人数・習熟度別指導ガイドライン《中学校 英語》」を策定しました。

ガイドラインの目的

- 英語が“使える”中学校卒業生
- 一定水準の学力の達成と、特に秀でた生徒の英語力の伸長
- 外国の人たちに積極的に話しかけ、英語でコミュニケーションを図ろうとする態度の育成

指導方法・指導体制

1年生ではあいさつや自己紹介、2年生では道案内などを、3年生では日本文化紹介などができるようにします。

学習集団について、各学年段階の学習内容の特性や生徒の習熟の状況等に応じた編成を行います。

日本の文化や日本人の考え方を積極的に外国の人々に知らせるといった観点から指導内容を工夫しましょう。

- ① 具体的な目標（達成水準）を設定し、学習の実現状況を的確に把握するための効果測定を実施する。
- ② 生徒の理解や習熟の程度等を的確に把握する。
- ③ 生徒の理解や習熟の程度に応じて英語力を育むための、効果的な学習集団を編成する。
- ④ 必要に応じて、既習事項の学び直しや反復学習などによる「補充的な学習」による指導を行う。
- ⑤ 習熟が早く、さらに学習を進めていきたい生徒には、「発展的な学習」による指導を行う。
- ⑥ 広い視野から国際理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高める。

効果測定及びテスト等から、4技能の習熟の程度を把握しましょう。
生徒には課題を具体的に示して指導しましょう。

学習指導要領に示す内容の理解をより深める学習や、さらに進んだ内容についての「発展的な学習」を行います。

今後、都が作成して配布する指導書には、少人数・習熟度別指導を一層効果的なものとするための実践例などが記載されています。ぜひ参考にしてください。



英語科におけるガイドラインに基づいた学習集団編成について

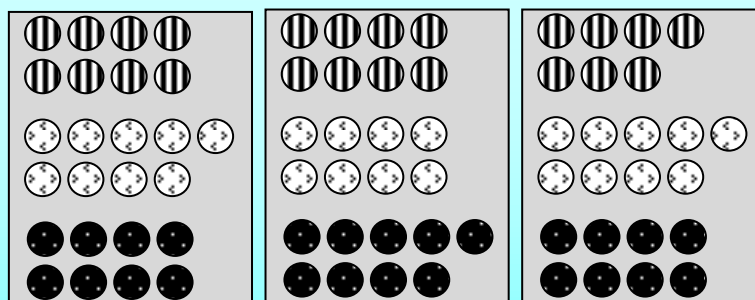
Point1 少人数（基準：25人以下）＋習熟の程度に応じた指導

Point2 中学校3年間で固定化することなく、次の四つの編成例を基に、3年間を見通して計画的に編成

【2学級3展開の例】

生徒の習熟の程度〔早い… 中間… 遅い…〕

編成例1 習熟の程度を考慮した少人数学習集団編成



クラス1

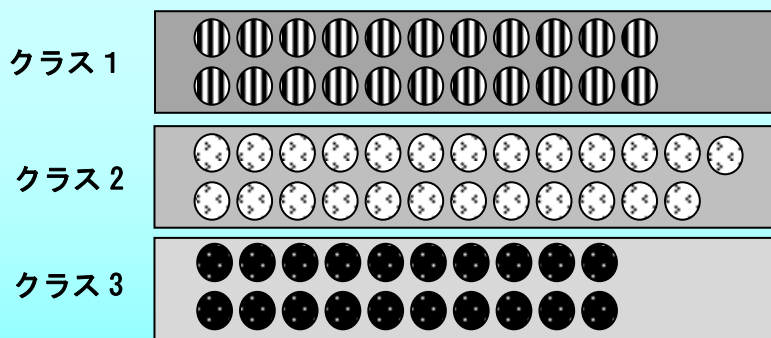
クラス2

クラス3

《特徴》

- 生徒同士の間関係上の課題等を考慮しつつ、英語の学習について、習熟の程度が多様な生徒が、概ね均等に混在する三つの学習集団を編成する。
- リーダーが機能したグループワークによる生き生きとした言語活動により、個々の生徒の発話量を増やし、コミュニケーション能力を効果的に向上させることができる。

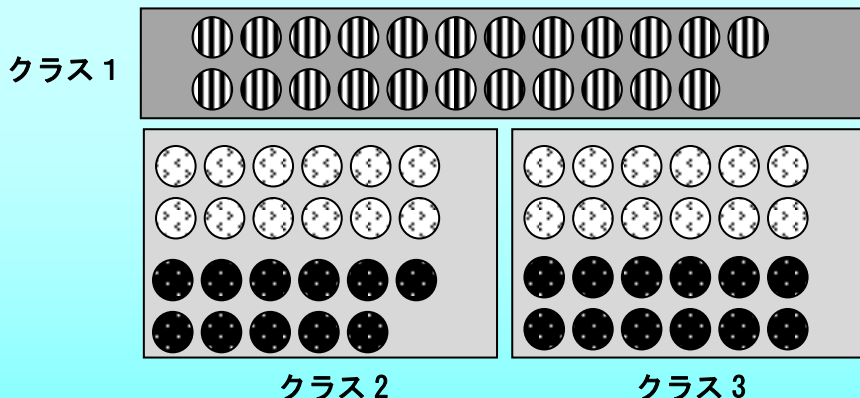
編成例2 習熟度別による少人数学習集団編成①



《特徴》

- 「発展コース」「基礎コース」「補充コース」など習熟の程度に応じた学習集団を編成する。
- 学力差が生じやすい傾向がある語彙や文法知識の習得については、立ち戻る指導など個に応じた指導の充実により、効果的につまずきの解消を図ることができる。
- 習熟が早く、さらに学習を進めていきたい生徒には、「発展的な学習」による指導を効果的に行うことができる。

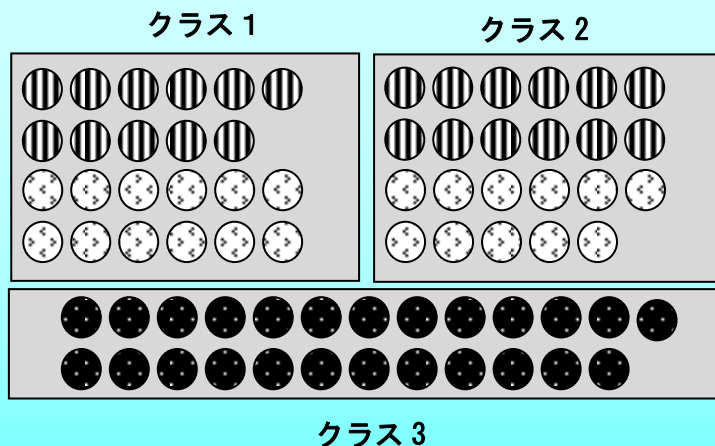
編成例 3 習熟度別による少人数学習集団編成②



《特徴》

- 「発展コース」など、習熟が早く、さらに学習を進めていきたい生徒による学習集団を編成する。
- それ以外の生徒については、生徒同士の間関係上の課題等を考慮しつつ、英語の学習について、習熟の程度が多様な生徒が、概ね均等に混在する二つの学習集団を編成する。
- 習熟が早い生徒について、「発展的な学習」による指導を効果的に行うことができる。

編成例 4 習熟度別による少人数学習集団編成③



《特徴》

- 「補充コース」など、習熟の遅い生徒による学習集団を編成する。
- それ以外の生徒については、生徒同士の間関係上の課題等を考慮しつつ、英語の学習について、習熟の程度が多様な生徒が、概ね均等に混在する二つの学習集団を編成する。
- 習熟の遅い生徒について、立ち戻る指導など個に応じた指導の充実により、効果的につまずきの解消を図ることができる。



少人数指導の充実により、生徒一人ひとりの発話量を増やし、実際に英語を使用してコミュニケーションを図る活動を充実させましょう。ペアワークやグループワークなどの学習形態を適宜取り入れながら、効果的な授業を展開しましょう。